

紙芝居上演活動、犯罪被害者支援講演会の聴講、犯罪被害者への支援活動

山陽学園大学 ボランティアサークルあい 犯罪被害者支援チーム

活動の目的

親しみやすい紙芝居を通して、低年齢から命を大切に
する人権意識を高めることを目的とする。犯罪被害に遭った
方の物語に加え、近年増加中のSNSいじめに関する物語を
用いて啓発活動を行う。小学校高学年からスマホを所持す
る率が高まっているが、対人コミュニケーションスキルが
不十分であるため、SNS上でのコミュニケーションで相手
の心を傷つける認識が弱く、人権意識も育ちにくい。そこ
で、SNSいじめに関する紙芝居を上演し、その後、命を
テーマにしたグループワークを行うことで、人権に配慮し
た関わり方を意識し、SNSいじめの被害による自殺防止お
よび加害行為の抑制につなげていく。また、SNSいじめ啓
発活動に携わる高校生や大学生側も命を大切に
する心を醸成することにもつながり、社会のリーダーとしての意識を
高めることにもなる。警察、カウンセラー、学校の先生や
家庭にも協力を得ながら、大学生と高校生が連携し、若者
の視点で子どもたちに命の大切さについて啓発活動をする
ことにより、地域との連携が広がり、自分も周りにいるみ
んも大切な命である認識を植え付け、安心して地域で暮
らせる社会環境づくりを目指す。

活動の内容及び経過

新型コロナウイルスの蔓延により、対面による活動が制限
されてしまい、令和2年度はほとんど活動ができなかった。
しかし、そのような中でも岡山県立芳泉高校と連携をして
オンラインでの協議を重ね、大学生と高校生が協力して作
品を仕上げることができた。

具体的には以下のとおりである。

令和2年11月9日（月）

岡山県警少年サポートセンター非行防止教室として、「け
やきっ子クラブ（西大寺南小学校内）」にて、SNSいじ
め防止を目的とした紙芝居「大切な友だち」を上演し、子
どもたちにSNSのコミュニケーションでいじめにつな
がることについて啓発活動を行った。

令和2年7月1日（水）芳泉高校と打ち合わせ

大学生が作成しているSNSいじめ防止をテーマにした紙
芝居の動画づくりについて協議

令和3年2月26日（金）芳泉高校と打ち合わせ

大学生が作成したものを高校生が動画として音楽を入れ
たり画像を動かしたりする作業を実施するなどの役割分
担実施。

後日、データを送り、高校生が部活動の一環として動画
作成。



活動の成果・効果

岡山県警少年サポートセンターと連携し、非行防止教室の
一環としてSNSいじめの啓発活動を実施することができた。
対象となった小学生には、SNSのコミュニケーションによ
って人の心を傷つける可能性があることについて理解を深め、い
じめにならないコミュニケーションを考えるきっかけとなった。

また、高校生と協同で紙芝居動画の製作活動を通して、大
学生には先輩としての自覚が芽生え、高校生にはSNSいじめ
について関心を高めるきっかけ作りを提供することができた。

大学生と地域の高校生が連携して活動することにより、社
会のリーダーとしての自覚が芽生え、命の大切さを実感し、自
分や周りの他者に対する思いやりの気持ちを醸成することが
できた。

今後の課題と問題点

新型コロナウイルス蔓延の影響により、対面による活動が
制限され、予定していた内容がほとんどできなかった。オン
ラインでの実施も模索したが、学校現場ではリアルタイム
によるオンラインでのやりとりが困難である。

- 代表者：上地玲子 ●所在地：岡山市中区平井
- TEL：086-901-0677 ●E-MAIL：Reiko_kamiji@sguc.ac.jp
- URL：http://sanyo-volunteer-circle-ai.jimdo.com/
- 設立年：2017年 ●メンバー数：12名